

# American Hardwood Eco Design

夢  
追  
い  
人

新年号特集

## アメリカ広葉樹を使った 家具造り

今回の夢追い人には三人の方に登場していただく。

三人の方は、十一月十九日から十二月十一日まで西新宿のリビングデザインセンターOZONEで開かれた「アメリカ広葉樹と二人のデザイナーと家具産地の匠たちのコラボレーション」による暮らしの家具」に大川から参加されたメンバー。(株)井上材木店、(株)丸庄、(株)オカキ・ファニチャーの代表者。キャラクターマーク(節)の入った、アメリカ広葉樹を使ったユニークな家具づくりに取り組んだ。

この展示会は、広島・府中産地と大川の家具メーカー五社

が展示している。府中からは、土井木工、若葉家具である。大川を担当するデザイナーは、小泉誠氏。府中は関洋氏。いずれも著名なデザイナーである。大川対府中の産地対決となった。



デザイナーの小泉さんとの話し合い



デザイナー  
小泉 誠氏



デザインコンセプト  
「生活を楽しむ」



パーティーシーンをイメージした  
アイランドキッチン



キャラクターマークを  
使い表面の「波」を造形  
したデザイン



## 株式会社丸 庄 社長 酒見 俊郎さん



「今後も小泉さんや関さんと組んで仕事をしたいと思えますね！」

展示会出品の作品づくりで、デザイナーの小泉さんと酒見さんは話し合いに時間をかけた。「最初のデザインスケッチを受け入れられず、結局キッチンをやりたいと申し出たんですよ。これには小泉さんもびっくりしておられましたね。(笑)」

でも、できあがったキッチンのデザインを見て、今度は酒見さんの方がびっくりすることになる。「さすがだと思いました！通常のキッチンでなく、パーティーシーンをイメージしたアイランドキッチンの図面ができあがってきました。実にユニークで、すごいな！と思いましたね。」

展示会に出品した作品は、小泉さんが提唱する「生活を楽しむもの」というデザインコンセプトに賛同して、キッチンの他、「タオルハンガー」

や「ウォールボックス」といった小物も制作した。

キャラクターマークを用いる家具造りは経験豊富だ。六年前には東京国際家具見本市でアメリカ広葉樹を使ったキッチンを製作し好評を得たので、第一弾商品としてアルダー材を使った「ONDA」(イタリア語で波の意)を製品化した。キャラクターマークを使い表面の「波」を造形したデザインが大きな反響を呼んだ。第二弾として発表したウォールナット材を使った「TESTA」も高い評価を得た。現在では丸庄の看板商品となっている。

独自の技術力もある。ウエーブという、節の周りを削り込み、立体的に節を浮き立たせ、キャラクターマークを美しく見せる特許技術を持っている。

展示会の反響は大きいようだ。井上材木店と同じく、取材の前日、展示会を見たバイ

ヤーから問い合わせの電話が入ったそうだ。展示会でも「どうやってつくるのか?」「節の加工はどうするのか?」といった風に、学生さんや一般ユーザーからよく尋ねられた。

「時代が変わったと感ずります。以前は欠点材としか見られなかったものを素直に皆さんが受け入れてくれるのです。いえ、むしろ良さを認めてくれるんです。」としみじみ語られる。酒見さんは、都心の新宿で、十一月二十九日から十二月十一日まで開いた展示会で、多様なジャンルのプロユーザーに大川市にある「丸庄」という家具メーカーをアピールできたこと、広島・府中の家具メーカーと一緒にできることの意義は大きいと感じている。

今後は、小泉さんや府中グループを担当した関さんなどと組みながら、備え付けの家具造りや、工務店、設計事務所、住設店、インテリアコーディネーターといった多様なジャンルの新規販売チャネル開拓に力を入れるつもりだ。

## 多様なジャンルの

## 新規販売チャネル開拓